

令和3年度 事務事業評価シート（1）

[令和2年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	堺市文化振興財団事業補助			事業番号	008-035
担当部署名	文化観光	局	文化	部	文化 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	1.堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～	施策	(4) 文化芸術の振興・国際交流の強化
			有	取組の方向性	②「堺アーツカウンシル」などを活用した文化芸術の振興		
		寄与するKPI	有・無	指標名	文化施設の利用者数		
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(8)働きがいも経済成長も	ターゲット	8.9
			有	取組	茶の湯や地域の祭り、文化財などの歴史文化の保全・魅力発信		
		寄与するKPI	有・無	指標名	—		
		無	現状値	—	目標値	—	

事業の概要

2	関連計画	第2期堺文化芸術推進計画		
3	事業開始年度	平成 6 年度	点検年度	令和 7 年度
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	文化芸術基本法、自由都市堺文化芸術まちづくり条例		
5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	公益財団法人 堺市文化振興財団		
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民、市内外の文化芸術等に興味のある方 3,000人		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	市民が身近に文化芸術に触れることのできる環境が創出され、生活に潤いや心の豊かさを感じ、子どもの感性が磨かれるとともに、個性豊かな文化的魅力に満ち、内外の人々が賑わうまちにする。		
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	(公財) 堺市文化振興財団が実施する以下の事業に対する補助 ・将来の文化の担い手や鑑賞者を育成するための子どもたちへの文化芸術の普及事業 ・次代を担う新進芸術家の育成、支援事業 ・市民自らが舞台に立つことなどでより深い感動を味わえる市民参加事業 ・堺独自の歴史・文化資源を活用することで、内外の人々が堺に魅力と愛着が感じられる事業		
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	—		
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載	—		
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	公益財団法人 堺市文化振興財団		
10	公民連携・協働事業	—		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	定性的な成果目標	文化芸術のすそ野の拡大と、文化芸術の力を活用した社会的課題の解決				
	当該目標を設定した理由	第2期堺文化芸術推進計画で、「文化芸術の力を活用した社会的課題の解決」を重点的方向性に定めているため。				
	目標に対する実績	令和元年度市民調査で、堺市の文化的環境に満足している割合の回答 ほぼ満足以上が67.5%				
	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	実績		目標	
12	社会包摂型事業の実施本数	本	令和元年度	令和2年度	令和3年度	
			目標値	—	—	24
			実績値	17	7	—
	達成率	—	—	—		
	当該指標を選定した理由	第2期堺文化芸術推進計画で、「文化芸術の力を活用した社会的課題の解決」を重点的方向性に定めているため。				
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市文化振興財団が主催する社会包摂型事業の事業数				

令和3年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	堺市文化振興財団事業補助	事業番号	008-035
-------	--------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

(単位：千円)

項目	平成30年度	令和元年度	令和2年度		令和3年度
	決算	決算	予算	決算	予算
事業費 (a)	153,341	133,523	134,310	119,054	134,595
13 財源内訳	国支出金			782	
	府支出金				
	市債				
	その他 ()				
	受益者負担金(使用料、手数料等)				
一般財源	153,341	133,523	134,310	118,272	134,595
14 人件費 (b)	820	810	1,476	1,476	820
15 年間経費(c)=(a)+(b)	154,161	134,333	135,786	120,530	135,415

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度	事業費	うち一般財源
16 事業費内訳	R2 決算	114,574	113,792		R2 決算		
					R3 予算	127,725	127,725
	R2 決算	4,480	4,480		R2 決算		
					R3 予算	6,870	6,870
	R2 決算				R2 決算		
					R3 予算		
	R2 決算				R2 決算		
					R3 予算		
R2 決算			R2 決算				
			R3 予算				

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和元年度	令和2年度
① 堺市文化振興財団が行う文化芸術事業の入場者数	人	8,764	2,865
② 上記①にかかる年間経費	千円	133,523	119,054
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	15,235	41,555
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 ○文化芸術事業（ホール事業、アウトリーチ事業等）の実施に向けて準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、ホール事業等10本のうち4本が中止、1本が無観客公演、アウトリーチ事業20本のうち13本が中止となり、入場者数が大きく減少した。入場者を集めての事業実施が困難となったため、新たに動画配信事業を実施し、コロナ禍においても自宅等で誰もが文化芸術に触れる機会を提供できるよう改善された。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 ○（公財）堺市文化振興財団が、堺市内の文化施設等を活用して、文化芸術事業（ホール事業）を開催することで、市民が身近に文化に触れる機会を提供し、また、その事業をきっかけとして、市民の今後の利用につなげるなど文化施設の利用者数増加に寄与している。

○障害、家庭環境等の何らかの事情で文化芸術に触れることが難しい市民に対しても、文化に触れる機会を提供するため、社会包摂型のアウトリーチを予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、多くの事業が中止となった。令和3年度は新型コロナウイルス感染症への対策を講じながら、安全に配慮して事業を実施するよう求める。